

令和4年3月29日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

ムーンショット型研究開発事業（ムーンショット目標8、目標9）における プロジェクトマネージャーの決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、ムーンショット型研究開発事業（ムーンショット目標8および目標9）のプロジェクトマネージャー募集における採択者を決定しました。

ムーンショット型研究開発事業は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的研究開発を推進すべき分野・領域などとして文部科学省により定められた研究開発構想に基づき、研究開発を推進するものです。ムーンショット目標に関する研究開発全体の責任者であるプログラムディレクター（PD）の下、プロジェクトマネージャー（PM）は、ムーンショット目標達成および研究開発構想実現に至るシナリオの策定、研究開発プロジェクトの設計、研究開発体制の構築、研究開発プロジェクトの実施管理などを行います。提案はムーンショット目標ごとに募集し、PDがサブPD・外部専門家の協力を得ながら選考しました。

令和3年9月に新たに追加されたムーンショット目標8および目標9について、「コア研究」と「要素研究」のアプローチを設定してそれぞれでPMを募集した結果、計99名の応募がありました。募集締め切り後、書類選考と面接選考を実施し、計21名を採択しました。

今後、ムーンショット目標達成に向けて、より効果的・効率的な研究開発となるようPDの指揮の下、採択されたPMは、ムーンショット目標達成に至るシナリオ、研究開発プロジェクトの詳細計画などの作り込み（提案した研究開発プロジェクトの内容の見直しなど）を行います。その内容が妥当であるとPDに認められ次第、PMは研究開発プロジェクトを開始します。

詳細は下記ホームページを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/moonshot/index.html>

<添付資料>

別紙1：応募数および採択数

別紙2：プロジェクトマネージャー（PM）・研究開発プロジェクト一覧

別紙3：評価者一覧

参考1：選考の観点

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

犬飼 孔（イヌカイ コウ）

Tel：03-5214-8419 Fax：03-5214-8427

E-mail：moonshot-koubo@jst.go.jp

※電子メールでお問い合わせください。

応募数および採択数

ムーンショット目標名	アプローチ	応募者数	採択者数
ムーンショット目標 8 2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現 (PD: 三好 建正)	コア研究	9	3
	要素研究	19	5
ムーンショット目標 9 2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現 (PD: 熊谷 誠慈)	コア研究	33	6
	要素研究	38	7
合 計		99	21

※ムーンショット目標 8 および目標 9 では、多様かつ挑戦的な研究開発のアイデアを取り入れながら研究開発を推進することが重要であることから、「コア研究」と「要素研究」の 2 つのアプローチで研究開発を開始し、連携・融合を図りながら進めます。

コア研究：2050年の社会像からバックキャストし、ムーンショット目標を達成するために必要な全体構想（シナリオ）を描き、シナリオの実現に向けて取り組む研究開発プロジェクト。

要素研究：ムーンショット目標の達成に必要な全体構想（シナリオ）を描くことは困難であるが、ムーンショット目標達成に貢献しうる研究開発プロジェクト。

プロジェクトマネージャー（PM）・研究開発プロジェクト一覧

（五十音順）

ムーンショット目標8「2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現」

【コア研究】

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
澤田 洋平	東京大学 大学院工学系研究科 准教授	社会的意思決定を支援する気象－社会結合系の制御理論
筆保 弘徳	横浜国立大学 先端科学高等研究院 台風科学技術研究センター長	安全で豊かな社会を目指す台風制御研究
山口 弘誠	京都大学 防災研究所 准教授	ゲリラ豪雨・線状対流系豪雨と共に生きる気象制御

【要素研究】

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
小槻 峻司	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 准教授	気象制御のための制御容易性・被害低減効果の定量化
高垣 直尚	兵庫県立大学 大学院工学研究科 准教授	台風下の海表面での運動量・熱流束の予測と制御
西澤 誠也	理化学研究所 計算科学研究センター 研究員	局地的気象現象の蓋然性の推定を可能にする気象モデルの開発
野々村 拓	東北大学 大学院工学研究科 准教授	大規模自由度場のセンサ／アクチュエータ位置最適化と非直交・非線形最適制御則の構築
森 修一	海洋研究開発機構 地球環境部門 プログラム長代理（上席研究員）	台風制御の予測と監視に不可欠な海の無人機開発

ムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」

【コア研究】

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
今水 寛	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 所長	仏教・機械・脳科学で実現する安らぎと慈しみの境地
筒井 健一郎	東北大学 大学院生命科学研究科 教授	多様なこころを脳と身体性機能に基づいてつなぐ「自在ホンヤク機」の開発
橋田 浩一	理化学研究所 革新知能統合研究センター グループディレクター	データの分散管理によるこころの自由と価値の共創
松元 健二	玉川大学 脳科学研究所 教授	脳指標の個人間比較に基づく福祉と主体性の最大化
山田 真希子	量子科学技術研究開発機構 量子医学研究所／量子生命科学研究所 グループリーダー	逆境の中でも前向きに生きられる社会の実現
山脇 成人	広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 特任教授	Awareness Musicによる「こころの資本」イノベーション

【要素研究】

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
菊知 充	金沢大学 医薬保健研究域医学系 教授	子どもの好奇心・個性を守り、躍動的な社会を実現する
喜田 聡	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授	食の心理メカニズムを司る食嗜好性変容制御基盤の解明
内匠 透	神戸大学 大学院医学研究科 教授	こころの可視化と操作を可能にする脳科学的基盤開発
友田 明美	福井大学 子どものこころの発達研究センター センター長・教授	被虐待児、虐待加害、世代間連鎖ゼロ化社会
中村 亨	大阪大学 大学院基礎工学研究科 特任教授（常勤）	AIoTによる普遍的感情状態空間の構築とこころの好不調検知技術の開発
細田 千尋	帝京大学 先端総合研究機構 講師	「私たちの子育て」を実現する代替親族制のための情報社会基盤の開発
宮崎 勝彦	沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット シニアスタッフサイエン	楽観と悲観をめぐるセロトニン機序解明

	テスト	
--	-----	--

※提案者の所属・氏名・研究開発プロジェクト名は応募時点のものです。

※研究開発プロジェクト名は、採択後の作り込み（提案した研究開発プロジェクトの見直しおよび具体化）を経て変更される場合があります。

評価者一覧

ムーンショット目標8「2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現」

	氏名	所属・役職
プログラムディレクター (PD)	三好 建正	理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー
サブプログラムディレクター (サブPD)	坂上 貴之	京都大学 大学院理学研究科 教授
	中澤 哲夫	東京大学 大気海洋研究所 学術支援職員
外部専門家	飯田 誠	東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授
	稲津 将	北海道大学 大学院理学研究院 教授
	井村 順一	東京工業大学 工学院 教授/執行役・副学長
	潮 俊光	大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授
	牛尾 知雄	大阪大学 大学院工学研究科 教授
	大原 美保	土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター 主任研究員
	小川 知之	明治大学 総合数理学部 専任教授
	沖 大幹	東京大学 大学院工学系研究科 教授
	沖 理子	宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター センター長
	亀山 康子	国立環境研究所 社会システム領域 領域長
齊藤 和雄	気象業務支援センター 研究推進部 室長	

標葉 隆馬	大阪大学 社会技術共創研究センター 准教授
水藤 寛	東北大学 材料科学高等研究所 教授
鈴木 大慈	東京大学 大学院情報理工学系研究科 准教授
高橋 潔	国立環境研究所 社会システム領域 副領域長
竹内 一郎	名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授
中島 映至	東京大学 名誉教授
新野 宏	東京大学 名誉教授
廣井 悠	東京大学 大学院工学系研究科 教授
藤井 孝藏	東京理科大学 工学部情報工学科 教授
三浦 裕亮	東京大学 大学院理学系研究科 准教授
山田 道夫	京都大学 数理解析研究所 特任教授
横田 寛伸	気象庁 総務部 参事官
横山 広美	東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 教授
余田 成男	京都大学 国際高等教育院 特定教授

ムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」

	氏名	所属・役職
プログラムディレクター (PD)	熊谷 誠慈	京都大学 こころの未来研究センター 准教授
サブプログラムディレクター (サブPD)	井ノ口 馨	富山大学 学術研究部医学系 卓越教授
	西田 眞也	京都大学 大学院情報学研究科 教授
	森田 朗	次世代基盤政策研究所 代表理事
外部専門家	礪村 宜和	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教授
	遠藤 薫	学習院大学 法学部 教授
	苧阪 直行	京都大学 名誉教授
	蒲池 みゆき	工学院大学 副学長
	川人 光男	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 所長
	齋藤 亜矢	京都芸術大学 文明哲学研究所 准教授
	櫻井 武	筑波大学 医学医療系 教授
	櫻井 芳雄	同志社大学 大学院脳科学研究科 教授
	銅谷 賢治	沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット 教授
	永田 智也	D3 LLC マネージング・パートナー
	林(高木) 朗子	理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム チームリーダー

堀 浩一	東京大学 大学院工学系研究科 教授
三浦 麻子	大阪大学 大学院人間科学研究科 教授
村井 俊哉	京都大学 大学院医学研究科 教授
村上 祐子	立教大学 大学院人工知能科学研究科 教授
横澤 一彦	東京大学 大学院人文社会系研究科 教授
渡邊 克巳	早稲田大学 理工学術院 教授

選考の観点

選考は、主に以下の観点などにに基づき総合的に実施しました。

① PMとしての資質

- 最先端の研究開発を推進するため、国内外の関連する研究者などの幅広い人的なネットワークや専門的な知識を有すること。
- 最適な研究開発体制を構築し、進捗状況などに応じて機動的に体制を見直すなどのマネジメント力、リーダーシップ力を有すること。

② PMの提案する研究開発プロジェクト

- PMから提案されたプロジェクトの目標や内容（以下「提案内容」という。）が、従来のものとは比べ、より大胆な発想に基づくものかつ挑戦的なものであり、将来の産業・社会に大きなインパクトが期待される革新的なものであること。
- 2050年の目標達成に向けて、技術的観点や官民の役割分担を含む社会実装の観点から妥当なシナリオ（成功の仮説）を明確に説明できるものであること（※）。
- 提案内容が国内外を問わずトップレベルの研究開発力や知識、アイデアを結集するものであること。

※「要素研究」に応募された研究開発プロジェクトについては、この観点に代えて、「提案する研究開発プロジェクトの終了時に達成を目指す成果が、ムーンショット目標全体の主な課題やボトルネックを解消するものであることを明確に説明できること」を選考の観点としました。